

事務事業評価シート

事務事業コード	031103	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	広域連携推進事業(鳥取・岡山県境連携推進)		所属名	企画推進部 政策企画課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	02	自治体間の広域的な連携の推進		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5201	自治体間の広域的な連携の推進				
目標の 指標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取・岡山県境連携推進協議会負担金			予算事業コード	01-02-01-07-01-56

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取県と岡山県の県境に接する地域
意図 (どのような状態 にするために)	他圏域との交流・連携により、当該目的をもつ圏域での一体的な発展を図る。
手段 (どうするのか)	・ 交流・連携事業の実施 ・ 地理的、歴史的つながりのある各圏域内外へ効果的に情報発信を行うことにより地域の発展につながる取組を展開していく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	総会 要望活動 研究・勉強会	総会 要望活動 研究・勉強会	総会 要望活動 研究・勉強会	総会 要望活動 研究・勉強会	総会 要望活動 研究・勉強会
年度別実績	総会開催 要望活動実施 研究勉強会は中部地震により中止	総会開催 要望活動実施 研究勉強会	総会開催 要望活動実施 研究勉強会	総会開催 要望活動実施 研究勉強会	総会 要望活動 研究・勉強会		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	15	752	755	734	722	
	直接経費 A	15	20	31	15	15	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	15	20	31	15	15		
人件費 B	0	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	会議、研究会等への参加回数	回	目標	1
			実績	1	1	1	1	1
	(指標の説明) 鳥取県、岡山県知事に対する要望活動、圏域での自治体職員合同研修会の実施							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013</p> <p>【10次総の施策体系】 5201</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 鳥取・岡山両県の県境に接する16市町村で構成する協議会により、各市町村が連携し、関係機関等に対する要請・要望、関係団体との連絡、調査研究を行うことにより圏域の地域活性化を図る。</p> <p>【事業の成果】 ・総会開催 ・要望活動実施(鳥取県・岡山県) ・研究・勉強会の実施(オンライン)</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取・岡山両県の県境圏域の連携を図るため、今後も取り組む。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	会議、研究会等への参加回数	100%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	鳥取・岡山両県の県境圏域の連携を図るため、今後も適時適正に取り組む。		

事務事業評価シート

事務事業コード	031201	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	国内都市交流総合推進事業(総合推進)		所属名	企画推進部 文化交流課

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	全期
	政策	02	自治体間の広域的な連携の推進		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5201	自治体間の広域的な連携の推進				
目標の 指標の	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	国内都市交流総合推進費			予算事業コード	01-02-01-07-23-28

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市の姉妹都市提携都市をはじめとする国内他都市との交流
意図 (どのような状態にするために)	経済・文化・観光などの分野において、幅広い国内交流を展開する。
手段 (どうするのか)	国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各鳥取県人会との交流を促進し、本市のPR活動を展開する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		国内姉妹都市との交流事業を実施 国内各県人会との交流事業を実施	国内姉妹都市との交流事業を実施 国内各県人会との交流事業を実施	国内姉妹都市との交流事業を実施 国内各県人会との交流事業を実施	国内姉妹都市との交流事業を実施 国内各県人会との交流事業を実施	国内姉妹都市との交流事業を実施 国内各県人会との交流事業を実施	国内姉妹都市との交流事業を実施 国内各県人会との交流事業を実施
事業費	年度別実績	国内姉妹都市との交流事業を実施(岩国市訪問団受入) 国内各県人会の総会等に来賓出席、特産品・イベントのPRを実施(東京、東海、関西、広島、岡山)	国内姉妹都市との交流事業を実施(岩国市訪問団受入) 国内各県人会の総会等に来賓出席、特産品・イベントのPRを実施(東京、東海、関西、広島、岡山)	国内姉妹都市との交流事業を実施(岩国市訪問団受入) 国内各県人会の総会等に来賓出席、特産品・イベントのPRを実施(東京、東海、関西、広島、岡山、姫路)	国内姉妹都市との交流事業を実施(市政130周年記念事業姉妹都市参加) 国内各県人会の総会等に来賓出席、特産品・イベントのPRを実施(東京、東海、関西、広島、岡山、姫路)	国内姉妹都市との交流事業を実施(郡山市との和紙を通じた交流事業、釧路市との交流、鳥取小学校、釧路商業高校) 国内各県人会の総会等に特産品・イベントのPRを実施(岡山)	
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
事業費	事業費(A+B)	7,493	7,488	1,663	2,196	1,502	
	直接経費 A	274	169	214	758	88	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
人件費 B	7,219	7,319	1,449	1,438	1,414		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	国内都市交流件数	件	目標	6
			実績	6	6	6	6	4
	(指標の説明) 国内姉妹都市および他都市県人会との交流事業(来賓出席、特産品・イベントPR等)件数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022</p> <p>【10次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P31(企013)</p> <p>【事業の概要】 官民が連携しつつ、姉妹都市である北海道釧路市、兵庫県姫路市、山口県岩国市、福島県郡山市、歴史的なつながりや共通するテーマなどがある他都市、各地域の県人会などとの交流を推進している。</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 県人会総会参加 令和元年度 県人会総会参加、市制施行130周年記念式典姉妹都市昼食会 令和2年度 県人会総会参加なし(中止・延期等) 郡山市との和紙交流(市内小学校2校) 釧路市との交流(鳥取小学校および釧路商業高校)</p> <p>【今後の課題・方向性】 令和4年度の姫路市との姉妹都市提携50周年、令和5年度の釧路市との60周年の周年事業など、国内姉妹都市との交流事業を進めるとともに、首都圏や関西圏などの県人会など幅広いネットワークを持つ各種団体との交流を推進する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	国内都市交流件数	100%	100%	100%	100%	67%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルスの影響により、鳥取県人会の総会等が通常通り実施されなかった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>他都市との市民の相互理解や交流人口の拡大に寄与しており、引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、リモート方式や物品の送付などによる交流に取り組む。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	031202	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	国内都市交流総合推進事業(HOT)		所属名	企画推進部 政策企画課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	02	自治体間の広域的な連携の推進		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5201	自治体間の広域的な連携の推進				
目標の 施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	HOTトライアングル事業費			予算事業コード	01-02-01-07-01-58

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	姫路市、岡山市、鳥取市の三都市
意図 (どのような状態 にするために)	交流・連携により、三都市の発展を図る。
手段 (どうするのか)	三都市の情報発信、交流・連携事業に取り組む。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		幹事会開催	幹事会開催	幹事会開催	幹事会開催	幹事会開催	
年度別計画	年度別計画						
	年度別実績	幹事会開催(1回)	幹事会開催(1回)	幹事会開催(1回)	幹事会開催(1回)	幹事会開催(0回)	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	722	732	724	743	707	
	直接経費 A	0	0	0	24	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	24	0	
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	幹事会	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1	0
(指標の説明) 姫路市、岡山市との連携を維持するための幹事会を継続する。								
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】広域連携係 0857-30-8013</p> <p>【10次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 姫路市・岡山市とは、江戸時代の池田家の国替えなど歴史的に縁があり、平成19年2月に「姫路・岡山・鳥取城下町物語推進協議会」(愛称:HOTトライアングル)を設立し、3都市が一体となって市民交流を促進し、各都市が持つ地域資源を結んで地域の発展を目指す取組を行っている。</p> <p>【事業の成果】 幹事会開催のため、今後の交流・連携・共通課題についての検討を行った。(観光部会については、観光・ジオパーク推進課が所管)</p> <p>【今後の課題・方向性】 情報発信、交流・連携事業による3都市の発展を目指し、今後も取り組む。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	幹事会	100%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>新型コロナウイルス感染症拡大のため、岡山市において計画していた幹事会が開催されなかった。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症拡大のため、岡山市において計画していた幹事会が開催されなかったため。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新型コロナウイルスの感染動向も踏まえながら、情報発信、交流・連携事業による3都市の発展を目指し、今後も取り組む。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	031203	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	国内都市交流総合推進事業(民間交流推進)		所属名	企画推進部 文化交流課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 実施の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	02	自治体間の広域的な連携の推進		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5201	自治体間の広域的な連携の推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	民間交流促進事業費		予算事業コード	01-02-01-07-23-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市の国内姉妹都市をはじめとする県外の国内他都市との市民交流
意図 (どのような状態 にするために)	本市の国内姉妹都市をはじめとする県外の国内他都市との市民交流の促進
手段 (どうするのか)	市民が主体となって実施する県外の国内他都市との交流事業に対して支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別実績	補助金交付:1件	補助金交付:1件	補助金交付:1件	補助金交付:1件
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	7,358	7,469	874	850	707
	直接経費 A	139	150	150	131	0
	国・県	0	0	0	131	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	139	150	150	0	0
人件費 B	7,219	7,319	724	719	707	
職員数の 内訳	正規職員	1.00	1.00	0.10	0.10	0.10
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	国内交流促進事業活用団体数	団体	目標	2
	(指標の説明) 国内交流促進事業補助金を活用して民間交流を実施した団体数		実績	1	1	1	1	0
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022</p> <p>【10次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 国内他都市との交流事業を行う民間団体に対し、交流事業に係る交通費について補助金を交付する。</p> <p>【事業の成果】 新型コロナウイルスの影響により、国内での移動等に制限があり、交流事業を実施する団体等は無かった。 平成30年度 1件 令和元年度 1件 令和2年度 0件</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民による国内他都市との民間交流は、本市の地域活性化及び全国への情報発信の面において重要性を増しており、今後も引き続き積極的な支援が必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	国内交流促進事業活用団体数	50%	50%	50%	50%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	新型コロナウイルスの影響により、民間交流が出来なかった。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルスの影響により、民間交流が出来なかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>市民の相互理解や交流人口の拡大に寄与している。引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、リモート方式や物品による交流の取組に対する支援などに取り組む。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	038600	重点施策	まちづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	広域連携推進事業		所属名	企画推進部 政策企画課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の まちづくり	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成30年度 ~ 令和4年度
	政策	02	自治体間の広域的な連携の推進		根拠法令、 根拠計画等	連携中核都市圏構想推進要綱 (平成26年8月25日総行市第 200号)
施策	5201	自治体間の広域的な連携の推進				
目標 施策の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	麒麟のまち創生推進事業費			予算事業コード	01-02-01-07-01-52

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町
意図 (どのような状態 にするために)	人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、地域住民が安心して快適な暮らしを営んでいくため
手段 (どうするか)	中心市である本市が、近隣町と連携し、コンパクト化とネットワーク化により「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービスの向上」を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	年度別実績			連携中核都市圏形成に係る連携協約の締結 (平成30年4月1日) 連携中核都市圏ビジョン懇談会の開催 (H30.11.6, H31.3.26) 連携中核都市圏ビジョン事業の推進	連携中核都市圏ビジョン懇談会の開催 (R2.11.25, R3.23) 連携中核都市圏ビジョン事業の推進	連携中核都市圏ビジョン懇談会の開催 (R2.11.25, R3.23) 連携中核都市圏ビジョン事業の推進した。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	8,010	3,693	3,708	
	直接経費 A	0	0	767	98	172	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	3	0	0
	一般財源	0	0	764	98	172	
人件費 B	0	0	7,243	3,595	3,536		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.50	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		[KPI] 麒麟のまち圏域の観光入込客数(次年度の8月頃確定)	万人	目標	720	720	720	720	720
	(指標の説明) 基準値はH27		実績	627	597	673.6	658	416	
2	[KPI] 移住定住者数	人	目標	2800	2800	2800	2800	3360	
	(指標の説明) 基準値はH26		実績	1076	1761	2465	3138	3837	
3			目標	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】広域連携係 0857-30-8013</p> <p>【10次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P26(企004)</p> <p>【事業の概要】 鳥取県東部1市4町及び兵庫県香美町・新温泉町の1市6町(通称：麒麟のまち圏域)において、地方創生推進交付金等を活用し、広域連携による観光振興、移住促進等の施策実施し、圏域の活性化を図る。</p> <p>【事業の成果】 ○連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催 平成30年度(2回) 連携中枢都市圏事業について、連携中枢都市圏ビジョンの改訂について ほか 令和元年度(2回) 連携中枢都市圏事業について、連携中枢都市圏への香美町の加入について ほか 令和2年度(2回) 連携中枢都市圏事業について、連携中枢都市圏ビジョンの改訂について ほか</p> <p>○麒麟のまち創生戦略会議の開催 平成30年度(4回) サミット1回、首長会議3回 令和元年度(3回) サミット1回、首長会議2回 令和2年度(3回) サミット1回、首長会議2回</p> <p>【今後の課題・方向性】 連携中枢都市圏ビジョンに位置付けた90事業を着実に進め、圏域における取組の展開を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 麒麟のまち圏域の観光入込客数(次年度の8月頃確定)	87%	83%	94%	91%	58%
	2	[KPI] 移住定住者数	38%	63%	88%	112%	114%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>移住定住者数については目標達成したものの、麒麟のまち圏域の観光入込客数は目標達成できなかった。観光入込客数は、平成28年度から概ね順調に推移していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、人流が抑制され、達成率を上げることはできなかった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により多くの連携事業に影響を受ける中、個々の事業で工夫を凝らしながら連携の推進を図った。引き続き、連携中枢都市圏ビジョンに位置付けた90事業の着実な推進を図り、圏域の活性化に向けた取組を進める。</p>		